

【保育理念】

ともに生き、ともに育ち合う保育の実践



【保育目標】

《強く・明るく・仲良く・伸びる》

(あなたはあなたのままで素晴らしい 子どもが真ん中の保育)

◎ほとけさまに親しみ、命の尊さと生きる喜びを感じる

- ・仏様の教えに親しみ、自分がかげがえのない存在として尊び喜べることも
- ・自分の生命の尊さを感じとって、しっかりと自分を生き抜く

◎身近な自然や社会の恵みに感謝し、明るい態度をつくる

(私らしく生きていく)

- ・多くの生命をいただき、助けられて生きていくことを力にできる子ども

◎みんな仲良く、正しい行いに努める

- ・あなたがいてくれてうれしい、優しく向き合い仲間と育つ
- ・ひとりひとりとはちがっている。だから一緒に生きられる。互いを認め合える仲間。



【保育方針】

◆ともに生き、ともに育ちあう保育の実践

【保育方針を具体化するために】

◇一人ひとりに合わせた育児担当制保育(0.1.2歳児)

一人ひとりの生活リズムを大切にしながら、安心できる環境の中で、食事・睡眠・排泄・衣服の着脱などを基本的な生活習慣を身に着けるために、ゆるやかな育児担当制の中で過ごす

一人ひとりに深く関わりながら、少しずつできることが増えていくよう働きかける

◇保育指針に基づき、

縦割り保育の中で、毎日の決まった日課ときまりを繰り返すことで先の見通しを持って行動できるようにする。

自分でやりたい事を選択し、主体的に遊ぶことで、意欲や期待を持って活動に取り組めるようにする。

縦割り保育をとして異年齢児と一緒に集団での約束やルールを守り、仲間意識や社会性を養う。